



2017年11月NO.27

発行

SON・新潟

事務局:〒950-2044

新潟市西区坂井砂山4丁目22-19

TEL:025-378-0171

FAX:025-378-0172

E-mail:son_niigata@son.or.jp

公式Web:http://son-niigata.com/

スペシャルオリンピックス (SO) とは・・・

知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックスでは活動に参加する知的障害のある人を「アスリート」と呼んでいます。

「レガシー5か年計画」動き出しています！

SON・新潟 新たな組織体制が整いました！

SON・新潟では、スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟大会後に新たに組織編成を行いました。

スポーツプログラムについては新潟県が広範囲にわたることや、地域ごとに活動を盛り上げていきたいということから、3 brunchに分け事務局を配置しました。(各 brunchの活動については2面で詳しく紹介しています)

専門委員会については5つの委員会に業務を配分し、取り組みを進めています。

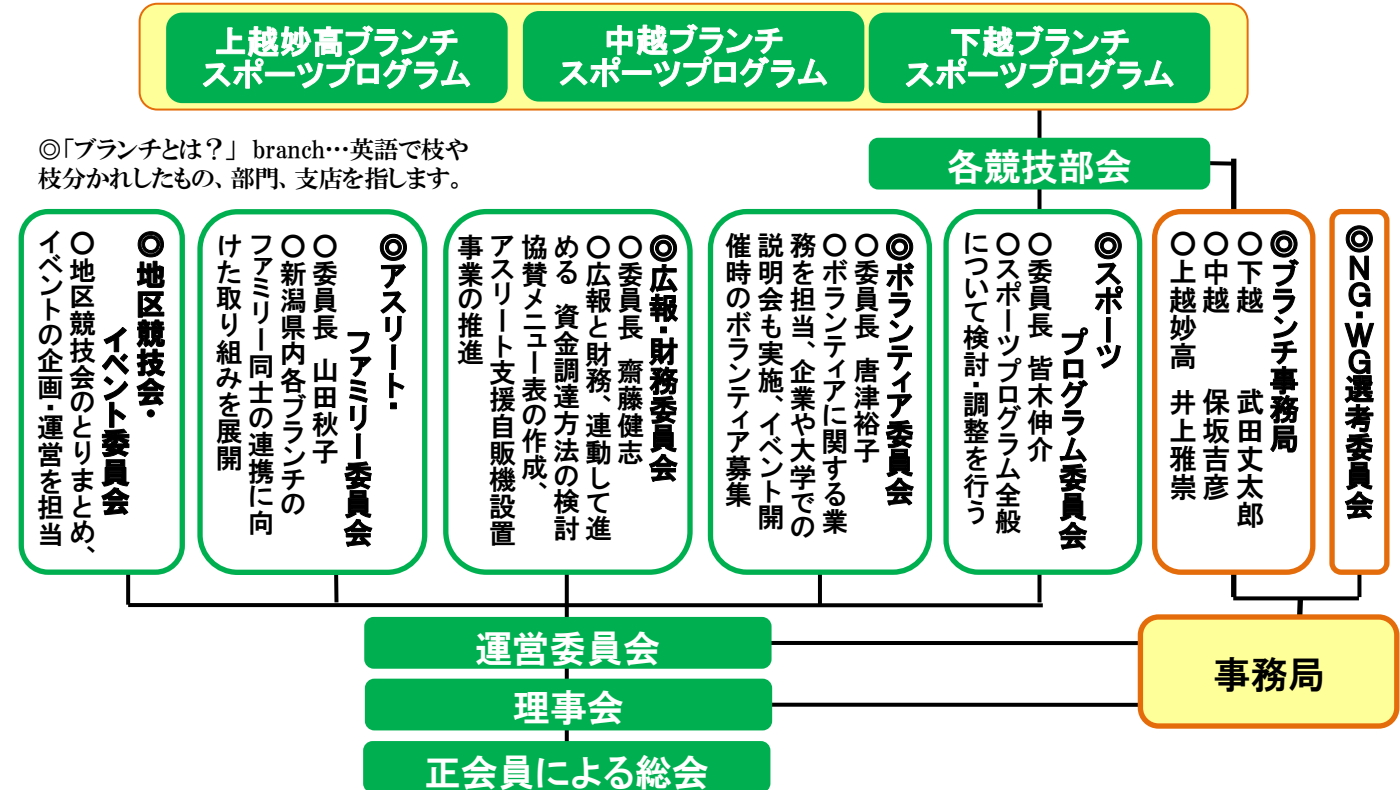
また、正会員による総会、理事・監事による年6回の理事会、各専門委員会・各 brunch事務局・運営委員による運営委員会、全県SP代表者会議、事務局、と基盤づくりにも一層力を入れています。

全県SP代表者会議



企業でのボランティア説明会

SON・新潟 組織図



◎「branchとは？」 branch…英語で枝や枝分かれしたもの、部門、支店を指します。

◎地区競技会・イベント委員会
地区競技会のとりにまどめ、イベントの企画・運営を担当

◎アスリート・ファミリー委員会
ファミリー委員会
○委員長 山田秋子
○新潟県内各 brunchのファミリー同士の連携に向けた取り組みを展開

◎広報・財務委員会
○委員長 齋藤健志
○広報と財務、連動して進める資金調達方法の検討
協賛メニュー表の作成、アスリート支援自販機設置事業の推進

◎ボランティア委員会
○委員長 唐津裕子
○ボランティアに関する業務を担当、企業や大学での説明会も実施、イベント開催時のボランティア募集

◎スポーツプログラム委員会
○委員長 皆木伸介
○スポーツプログラム全般について検討・調整を行う

◎branch 事務局
○下越 武田丈太郎
○中越 保坂吉彦
○上越妙高 井上雅崇

◎NG・WG選考委員会

運営委員会
理事会
正会員による総会

事務局

ランチを紹介します！

■下越ランチ…新潟市、阿賀野市、三条市

■実施プログラム…陸上競技、バスケットボール、ボウリング、卓球、バドミントン、サッカー、フロアホッケー、アルペンスキー、スノーシューイング、フィギュアスケート、ユニファイドサッカー、ヤングアスリート、ダンス

◎2017年はランチ会議を5月、8月、10月の3回開催しました。また今年度からコーチクリニックのゼネラルオリエンテーションとアスリート理解は、SOの更なる周知拡大と理解を深めていただくためにランチ毎に開催することになり、8月19日(土)に、新潟市総合福祉社会館にて開催しました。

また、合同説明会を10月22日(日)に新潟市総合福祉社会館、11月12日(日)に黒埼北部公民館にて開催をしました。今後も会議開催や情報交換を通じて各プログラム活性化に繋げ、新規プログラムの立ち上げ等にも協力して取り組んで行きたいと思っております。(寺口 能弘)

ディスクゴルフ 体験



合同説明会

中越ランチ



■中越ランチ…長岡市、小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市、柏崎市

■実施プログラム…バスケットボール、水泳、クロスカントリースキー、アルペンスキー、フロアホッケー、スノーシューイング、よさこい

◎中越ランチが大切にしていることは、それぞれの地域で開催される日々のプログラムの独自性を生かしつつ、横のつながりを広げていくことです。大会をきっかけに交流が始まったアスリートやファミリーが多くいます。活動の選択肢を広げたり、同じスポーツに取り組む仲間としてコミュニケーションを楽しんだりできるように8月12日(土)に交流イベントを開催しました。ナショナルゲームの舞台となった五日町スキー場でディスクゴルフ体験とカレー作り。少人数であることの利点を生かし、和気あいあいと交流できました。

次に新規にプログラムに参加したいアスリートに向けての説明会の実施です。中越は広域にわたるため、ニーズに応じて開催地域を変えて8月26日(土)に開催しました。少しずつ輪が広がってきたことを実感しています。これからも地域と中越らしい活動を展開していきたいと考えています。(保坂 吉彦)



下越ランチ
コーチクリニック



■上越妙高ランチ…上越市、妙高市

■実施プログラム…陸上競技、水泳、バスケットボール、サッカー、ゴルフ、フライングディスク、アルペンスキー、スノーボード、スノーシューイング

◎上越妙高では、年間を通してたくさんのプログラムが展開されています。地域の皆様のご理解とご協力をいただき、アスリートたちは、充実した活動のなかで、チャレンジを続けています。また、ボランティアとファミリーが一体となって活動を支え、上越妙高ランチのスペシャルオリンピックスを盛り上げてくれています。

11月25日(土)には、SOデーを開催しました。レクリエーションをしたり、みんなでお弁当を食べたり、各プログラムの紹介コーナーがあったりと、上越妙高ランチのみんなが一堂に会しました。12月には、冬季競技の説明会を予定しています。(井上 雅崇)



上越妙高
ランチ

第22回・第23回チャリティゴルフ大会 報告

SON・新潟では、広報及び資金調達の活動として、毎年、チャリティゴルフ大会を開催しております。第22回は6月29日(木)笹神五頭ゴルフ倶楽部(阿賀野市)にて112名、第23回は、10月12日(木)フォレストカントリー倶楽部(新発田市)にて233名の方が参加されました。第22・23回のチャリティ金及び協賛金の合計額は、1,181,650円となり、また、多くの協賛品もいただきました。第23回には、上越妙高ゴルフプログラムのアスリート望月さんと大島コーチが、平山理事長と一緒に組でプレーをしました。また、フォレストカントリー倶楽部で、大会開催1ヶ月前より、SOの紹介ブースを設けていただきました。

ご協賛・ご参加いただきました皆様、両ゴルフ場様に感謝申し上げます。



望月さん、
ナイスショット！

地区競技会 報告

5月
6日(土)
卓球
バドミントン



卓球とバドミントンは毎年合同で地区競技会を開催しています。そして翌日にはお楽しみ会を設定し、みんなで一緒に楽しんでいます。今年は「いちご食べ放題」に出かけました。カッコ良い大会を目指し、開会式での入場行進、公式審判員での競技運営、メダルの授与・表彰式を行っています。広くて大きな体育館は地区競技会にピッタリです。いつものプログラムと違って緊張感があふれます。(三林 けい子)



9月
24日(日)
陸上競技

新潟医療福祉大学陸上競技場にて陸上競技の地区競技会が開催されました。今年も天候に恵まれ秋晴れの中の競技会となりました。トラック種目は、50m走、100m走、200m走、400m走、800m走、1500m走、5000m走。フィールド種目は走り幅跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ。最後にエントリーしたアスリートで、4×100mリレー！一日暑いなかでの地区競技会でした。参加されたファミリー、ボランティアの皆さま、競技役員や競技のサポートにご協力ありがとうございました。(押山 晶子)

上越市でフライングディスクコーチクリニックを開催

9月10日(土)高田特別支援学校にて、県内初のフライングディスクのコーチクリニックを開催しました。以前より、激しいスポーツが苦手なアスリートも気軽に楽しめるスポーツがないかと、一部のファミリーからの声もありフライングディスクを選択しました。当日は新潟市・南魚沼市やディスクゴルフの方々からも参加いただき、約20人が田引トレーナー(SON・愛知)の指導を受けました。受講したファミリーからは派手な動作はないけど、地味に技術が必要だという声もチラホラ・・・！このプログラムを行うにあたって、上越ディスクゴルフクラブをはじめ、県ディスクゴルフ協会の方々に協力をいただき、県ぐるみのプログラムになったのではと思います。(中島 義隆)

魚沼市でMATP(モーター・アクティビティーズ・トレーニング・プログラム)コーチクリニックを開催

重複障害の方でも個々に合った内容で、目標を持ち、楽しみながら参加することのできる、とても前向きなプログラムだと思いました。また、アスリートの反射や反応を見抜く力、医療的スキル、一緒にプログラムを進めるパートナーの存在等が大切だと感じました。重複障害のアスリートへの理解が、日常プログラムでも重要であり、今後のプログラムへ生かしていきたいです。(八木 葉)
◎「MATPとは？」…重度知的障害や身体と知的の重複障害により、SOの既存の競技プログラムよりこのプログラムが適当と考えられる方を対象としたトレーニングプログラムのことです。

アスリートへの能動的な働きかけから反射や反応を見る



スペシャルオリンピックス日本 ローカルトレーナーセミナー 報告

「SOの使命とは何ですか。」講師のこの問いに、約7年SO活動をしてきたにも関わらず即答できなかった私。今年の夏はこの問いについて改めて考えるよい機会となりました。8月に名古屋市で行われたローカルトレーナーセミナーに参加してきました。2泊3日の日程でSOの使命や理念、コーチの行動規範、ディビジョニング演習など様々な講習を受けてきました。新潟からは落合清美さん、涌井こず恵さんが参加しました。講習終了後、私は「ローカルトレーナー候補」となりました。セミナーで学んだこととこれからのコーチ活動を生かして「SOの使命」を明確に説明できるトレーナーを目指します。(佐藤 陽)
◎「ローカルトレーナーとは？」…コーチクリニックの講師として派遣される等、コーチ育成の役割を担い、SO活動の充実に寄与する者をいいます。

スペシャルオリンピックス日本 ナショナルミーティング2017 報告

8月5日(土)名古屋学院大学でナショナルミーティング2017が開催され、SON・新潟からは3名(佐藤浩子さん、押山晶子さん、押山優樹さん)が参加しました。

◎今回初めて参加しました。有森裕子理事長の基調講演ではSOに関わることになったきっかけや、冬季ナショナルゲーム開催をきっかけにスポーツを通じた地域や学校とも交流が活発な南魚沼を例に挙げながら、SOの素晴らしさをもっと多くの人を知ってもらいたいという思いを聴かせていただきました。
ユースアクティベーションの発表では、『全ての活動はユニファイドで、ユース、学校と地域全体に対するアプローチという3つがカギになる、メディアを通じた注目も集めるようになってきた、社会を変えていく活動はみんな一緒にできない、自分たち若い世代とぜひ力を合わせて欲しい！』と力強く発表されていたのが印象的でした。
ファミリーストーリー発表会では、本人に自信がついて行動範囲が広がったという話など、ファミリーとして共感できる話も多くありました。全国の関係者と関わることができる貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。(押山 晶子)
◎ナショナルミーティングに参加して思ったことは、アスリートストーリーでの発表を聞いて僕もやってみようと思いました。たくさん人がいる前で発表しているアスリートたちがすごいと思った。(押山 優樹)

9月23日(土・祝) ユニファイド交流会を開催しました～!

新潟市西総合スポーツセンターにてEKSデーイベント ユニファイド交流会「ポッチャ・フライングディスク体験会」が開催しました。アスリートとパートナー(高校生、企業ボランティアの方々)が3人1組になり交流を楽しみました。

開会式はトーチラン・選手宣誓。準備体操はH&Dにあわせてのダンスで準備OK!

ポッチャ・フライングディスク体験は初めての方も多量中、最初は探り探りでしたが、体験が進むにつれ、プレーにも力が入り、白熱しました。

閉会式ではこの日のために作成した記念のミニタオルメダルをかけあい、健闘を讃え合いました。

最後はディスクを遠くへ飛ばす「ディスタンス」で腕試し! 一番遠くまで飛んだディスクは、なんと体育館の向こうの壁まで到達! また来年が楽しみな交流会となりました。

◎「ユニファイドスポーツとは?」…知的障害のある人(アスリート)とない人(パートナー)でチームを作り、練習や試合を行い、スポーツを通じてお互いの個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取組のこです。



7月2日(日) ポッチャ体験会・サンキューパーティーで 盛り上がりました

新潟ふれ愛プラザを会場に、午前、新潟県障害者スポーツ協会様のご協力のもと、ポッチャ競技の体験会を開催いたしました。講師には同協会の内山様をお招きし、参加者全員が講義に真剣に耳を傾けました。その後の実技指導では、各グループに分かれ、目標球にボールを近づけるためのコントロールの練習をし、最後は試合形式で競い合いました。またやってみよう! との嬉しい声が聞かれました。(山田 秋子)

◎「ポッチャとは?」…「ジャック」と呼ばれる白いボールめがけて赤と青のボールを交互に投げ、どれだけジャックボールに近づけられるかを競う競技です。



午後は新潟市のファミリー委員主催の「サンキューパーティー」を開催しました。さまざまなプログラムに参加しているアスリート、ファミリー、コーチ、ボランティアが一堂に会し、ジェンカ、大玉転がし、最後は二人一組でデカパンを履いてのパン食い競争に盛り上がりました。

◎「いろいろなプログラムの人たちと交流でき、パン食い競争も楽しかったです。」(バスケットボールビギナー 酒井 勇輔)

◎「一番楽しかったことは、踊りながらじゃんけんのゲームでした。またやりたいです。」(サッカー 小島 啓也)

◎「サンキューパーティーで、アスリートやファミリーが年齢に関係なく遊べるゲームで、自分と一緒にあったメンバーを応援したり、勝つための作戦を練ったりと工夫していました。とても楽しく過ごす事が出来ました。」(ファミリー 近藤 珠美)

S0スクール2017・北辰 (学校連携プログラム)

6月27日(火)に、南魚沼市立北辰小学校の体育館にて約600名がスポーツ交流をしました。参加者は、南魚沼市・湯沢町の特別支援学級、総合支援学校の小学部・中学部の児童生徒と保護者、関係する教職員と、北辰小学校の全校児童・関連団体スタッフです。入場行進、トーチランも行い、フロアホッケーやポッチャなどを体験しました。全員表彰の後は、橘光一さんの演奏もあり、最後はみんなでダンスをして盛り上がりました。冬季ナショナルゲームをきっかけに、北辰小学校とS0が交流を続けています。今後、交流が広がっていくといいですね。



SON・新潟 事務局より

■お知らせ

◎新潟北ロータリークラブ様の創立40周年記念として、フロアホッケーのレガース(ゴールキーパーの防具)を寄贈いただきました。ありがとうございました。

■今後の予定

◎12月9日・10日 S0日本・ユニファイドサッカー・全国大会 大阪

◎来年3月17日 SON・新潟 フロアホッケー交流競技会

■公式Webがリニューアルしました。Facebookも更新中! 是非活動の様子をご覧ください。

■スポーツボランティア、イベントボランティアを募集しています。詳しくは公式Webをご確認ください。

■賛助金納入のお願い

スペシャルオリンピックスの活動は、ボランティアと皆様の賛助金・寄付金で支えられています。

賛助金は、個人年間一口 3,000円・企業団体年間一口 10,000円となっております。

納入は、右記口座へお振込み(手数料はご負担願います)をお願いします。



新潟市フロアホッケー
プログラムで活用

【振込先】ゆうちょ銀行

記号番号:

00580-5-101963

口座名:NPO法人 SON・新潟